

Ecology

環境仕様

車両仕様	車名・型式	三菱・4AA-B35W		三菱・5AA-B34W		三菱・4AA-B38W		三菱・5AA-B37W	
	駆動方式	2WD							
	類別	LTTZ		LTSG		LTTZZ		LTSGZ	
エンジン型式	T Premium	T	G Premium	G	T Premium	T	G Premium	G	
	BR06インタークーラー付ターボチャージャー		BR06		BR06インタークーラー付ターボチャージャー		BR06		
変速機形式	CVT								
排出ガス	適合規制または適合基準	平成30年基準排出ガス25%低減レベル		平成30年基準排出ガス50%低減レベル		平成30年基準排出ガス25%低減レベル		平成30年基準排出ガス50%低減レベル	
	規制値または基準値 (WLTCモード走行)	NOx (g/km)	0.038	0.025	0.038	0.025	0.038	0.025	0.05
	NMHC (g/km)	0.075	0.05	0.075	0.05	0.075	0.05	0.075	0.05
燃料消費率	CO2排出量(燃費換算)	1.15		1.15		1.15		1.15	
	燃費(国土交通省審査値)※1	(km/L)	24.8	28.0	22.4	25.0	22.4	25.0	25.0
	CO2排出量(燃費換算)	(g/km)	94	83	104	93	104	93	93
燃料消費率	燃費	WLTCモード (km/L)	21.5	23.3	19.4	21.1	19.4	21.1	21.1
	市街地モード (km/L)	17.9	20.7	16.5	18.3	16.5	18.3	18.3	
	郊外モード (km/L)	23.4	24.7	20.8	22.9	20.8	22.9	22.9	
	高速道路モード (km/L)	22.2	23.7	20.0	21.4	20.0	21.4	21.4	
CO2排出量 WLTCモード(燃費換算)	(g/km)	108	100	120	110	120	110	110	
主要燃費向上対策	ハイブリッドシステム、可変バルブタイミング機構、自動無段変速機(CVT)、電動パワーステアリング、アイドリングストップ装置、バッテリーアシストシステム、充電制御								
参考 2020年度燃費基準	達成		+10%達成		-		達成		
参考 2030年度燃費基準	75%		80%		70%		75%		
温室効果ガス	HFO-1234yf [GWP値:1] ※3: エアコン冷媒の使用量 (g)		350						
車室内VOC	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値※4以下)								
車外騒音	適合規制	平成28年騒音規制(M1A2A)							
	加速走行騒音(適合規制値) (dB-A)	70							
環境負荷物質削減	鉛※5	自工会2006年目標達成(1996年平均使用量の1/10)							
	水銀※6	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止)							
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)							
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)							
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料を使用した部品	バンパー、インストルメントパネル、ヒラーガーニッシュ、エンジンアンダーカバー 等							
	樹脂・ゴム部品への材料表示	あり							
環境負荷物質使用状況等	リサイクル可能率	95%以上※7							
	鉛	電子基板、電気部品のはんだ、圧電素子等(PZTセンサー)							
	水銀	全廃済み							
グリーン購入法	カドミウム	-							
	六価クロム	-							
グリーン購入法	-		適合		-		適合		

※1 燃料消費率は、定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象・渋滞等)や運転方法(急発進・エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。※2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定したモードです。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定したモードです。高速道路モード:高速道路等での走行を想定したモードです。※3 GWP=Global Warming Potential(地球温暖化係数)フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められています。※4 厚生労働省が定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。※5 鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) ※6 ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外) ※7 ISO規格(22628:2002:AnnexA)に基づき算出。*自工会方式に対し、リユースされる対象部品が、あらかじめ規定されており、材料リサイクル対象をその材料種別でとりきめているグローバル標準方式。